

# 第7回市街地総合再生基本計画推進協議会 資料

令和4年1月24日（月）18時30分より  
中央公民館 講堂

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 前回会議録の確認 ※会議録は別冊
4. 【報告事項】
  - ① 前回協議会からこれまでの経過について
  - ② 全員協議会における議論について
5. 【協議事項】
  - ① 施設整備のプランニングに係るワークショップ ※図面は別冊
6. 今後の推進協議会スケジュールについて
7. 閉会

## 4. 【報告事項】

### ①前回協議会(12/7)からこれまでの経過について

□ 町として町民の疑問に答える取組を実施

・広報12月号より、事業の進捗や疑問等に答える記事を連載継続中

HPへのアクセスQRコード→



・疑問や意見募集のためのフォームを作成  
QRコードを使い、いつでも記入が可能

意見入力フォームQRコード→



- ・12/16補正予算可決(DS棟を除く内容を提出)
- ・12/20図書館建設検討委員会開催  
図面について協議(図面については共有済み)
- ・R4 1/18スーパー運営者と協議

□ 内閣府との事前協議及び計画書提出

- ・12/7制度概要が示され「デジタル田園都市構想」に基づき、事業にはデジタルシフトが盛り込まれていることが、採択に有利であるとの内容。
- ・12/21申請(計画提出)までのスケジュールが明らかになった。12/21～R4 1/5までを事前相談期間とし、計画提出が1/13・14の2日間とされた。なお、交付決定内示が3月上旬、決定日が3月下旬となる。
- ・内閣府担当から、提出した計画に対し細かな修正のアドバイスをいただいております、大きな問題はないと思われる。

### ②全員協議会における議論について

第4回全員協議会が12月10日に、また令和4年第1回全員協議会が1月11日開催されました。第1回全員協議会の内容については、2月議会報の折込にて全戸配布する予定であることから内容を絞ってお伝えします。

● 第4回全員協議会での議論

□ 予算補正について

- ・12/1臨時議会において補正予算否決されたことから、DS棟を除く内容で改めて提出することを説明。  
事業施行者・ドラッグストアは了承済み。

□議員からの意見等

- ・町民はドラッグストア出店に賛成していない。出店を一時的に遅らせるのではなく、白紙にすることが予算可決の条件である。
- ・補正が可決したとしても、住民の理解を求めるを崩さずに取り組むことが可決の条件となる。
- ・町の考え方が浸透していない。町民と対面での説明をお願いしたい。
- ・先のことは見通せないが、既存店がどうなるのかを考えると合い入れない。町民の納得度合いについて数字で示して欲しい。
- ・一定程度理解はするが、しっかりと説明をしていくべきである。
- ・町民がドラッグストア出店に賛成していないという意見には賛同しかねる。懇談会の開催は賛成する。今後もしっかり説明することであれば、町の提案に賛成できる。
- ・議論が疎かにならないようにして欲しい。若い人からは、説明会の開催を望む声がある。
- ・すべての事業を認めた訳ではなく、住民の理解を深めるためにも必要な予算と考える。関心の低い町民にも、参加しなくてはという意識を醸成する取組を考えて欲しい。
- ・施行事業者、ドラッグストアの2社の意気込みは大事にしたい。町の将来に欠かせない整備と思う。

□協議の結果

- ・町としては前に進まなくてはならないと考える。補正の結果は別として、今の課題、指摘された部分について全力で取り組んでいきたい。

●令和4年第1回全員協議会での議論

□協議事項

- ・図書館建設検討委員会の議論経過を説明
  - ※協議会委員には資料共有済み
- ・内閣府の交付金スケジュールのついて説明
- ・今後の進め方について説明

□議員からの意見等

- ・図書館には静かな場所の確保も考えて欲しい。
- ・木の町に相応しい建物として欲しい。
- ・今までの懇談の場に、若い人の参加が少ないと感じる。意見を聞く場や機会を設けて欲しい。
- ・バスのアクセスについて見えにくいので、しっかりと議論して欲しい。

□協議の結果

- ・推進協議会、図書館建設検討委員会、住民説明会の他にも、懇談の場、情報の提供など努めていきたい。
- ・内閣府との協議にも全力であたっていく。

## 5. 【協議事項】

### ①施設整備のプランニングに係るワークショップ

#### ・ワークショップの進め方

- ・グループ分けについて（3グループ）

年齢等、偏らないように以下のとおりのグループ分けといたします。なお、欠席者の状況により人数に差が出るような場合は、変更もあることをご了承願います。

#### ・議論の進め方

各グループに1人進行役（ファシリテーター）を配置します。議論は進行役が司会をする形で進めていきますので、発言や作業についても、進行役の進めに従いながらグループの意見を求めていきます。

進行役：アルファコート(株)、(株)p.b.Vより各グループに1名入ります。

また、統括ファシリテーターを松村アドバイザーとし、3グループの意見に対して全体で議論する際の進行役を担っていただきます。そして、協議会としての意見・方向性をまとめたいと考えています。なお、1回のワークショップですべてを方向付けるのではなく、毎回テーマ（議論のポイント）を決め、それに対する結論を各回でまとめていくこととします。

#### ・議論のポイント

- ・たたき台となるプランに対しての気付きや盛り込むアイデアを出し合う

専門的な視点ではなく、プロの設計者でも気づかないようなアイデアなどを出し合って、より良いプランとなるよう、みんなで考えまとめていくというプロセスになります。

- ・しっかりと使いこなせる規模感であるかを検討

作ったわ良いが、使われないスペースは出てこないか。出ないため、出さないための解決策はあるか。など「ちょうどいい」規模感などについて検討していただきます。

## ・ワークショップのタイムテーブルの目安

- ・時間配分などの目安は以下のとおりです。

ワークショップのねらい『現時点の計画案を把握し協議会としての意見を整理する』

00-05 5分間開催あいさつ（主催者）

05-10 5分間全体プログラム説明、本日進行内容説明（アルファ）

10-20 10分間計画内容/プラン案/法的制限について（p.b.V、コムズワーク）

20-50 30分間グループディスカッション（3グループ）

50-55 5分間グループ内整理

55-65 10分間グループ発表（グループ代表orファシリテーター）

65-75 10分間全体まとめ（ファシリテーター）

75-80 5分間おわりに（主催者）

以上となりますが、進行具合により時間配分が変更（短縮、拡大）となることもあります。

ただ、全体の時間として80分程度と考えております。

## 6. 今後の推進協議会スケジュールについて

- 令和4年2月上旬  
（仮）まちなか再生事業住民懇談会  
第7回の協議会でまとめたプランについて提示するとともに、意見を募る場とします。
- 令和4年2月中旬  
第8回市街地総合再生基本計画推進協議会  
住民懇談会で出された意見等を参考に、プランに反映するかなどの協議をし更にプランのブラッシュアップをします。
- 令和4年2月下旬  
基本設計の完了
- 令和4年2月下旬から3月上旬  
（仮）まちなか再生事業住民説明会及び広報による全戸配布  
基本設計を基にした説明会を開催するとともに、概要について全戸配布いたします。
- 令和4年4月以降  
市街地総合再生基本計画推進協議会において、実際の使い勝手を考えたプランのブラッシュアップや、運営に関する議論を重ねていきます。
- 令和4年6月頃  
本体工事の着工（完了は令和5年2月末）を予定